

## 学級会のススメ その4

～為すことによって学ぶ…実践を通して「支援」の関係を強くする～

子どもは、実践を通して友達との「支援」の関係を体感し、その大切さに気付きます。そして、自分や学級の変容や成長を振り返り、学びを深めていきます。

### ステップ4 「決めたことの実践～振り返り」での学び

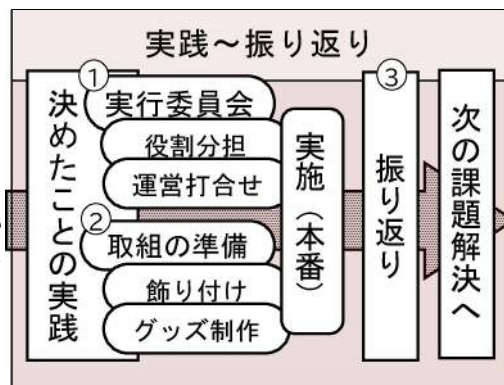
学級会の結果、学級として取り組むこと、学級で大切にすることが分かり、次の実践の段階へと進みます。実践とは、単に取組や活動を実施するだけではありません。実施に向けての準備を含みます。

#### ① 実行委員会に本番までにやることを決めさせる

教師は、実行委員会の相談にのりながら本番までのスケジュールを決めて見通しをもたせます。

実行委員会には、本番を実施するための細かいルールや分担などを決めさせます。内容によっては、学級での話し合いを短時間で実施します。

指導内容は、話し合わせずに教師が責任をもって伝える。



#### ② 実行委員会を中心に、学級全員で分担をして本番の準備をさせる

全ての子どもが役割をもち、友達と協力し合って準備ができるようにします。教師は、子ども同士の間人間関係の実態をよく観察し、注意喚起することがあれば、実行委員会に助言をして、実行委員会が全体に話をするように指導・支援します。

準備での子どもの意欲的な取組や良好な人間関係の様子は、教師が評価して価値付け、学級全体と保護者に紹介します。

本番よりも準備場面で、子ども同士の関係がよく分かる。

#### ③ 本番だけでなく話し合いや準備の場面も振り返らせる

振り返りは、実行委員会の用意したアンケート調査や教師が指導して書かせた作文などで行います。その結果は、学級全体と保護者にも紹介して、学級としての学びや成長を明らかにします。

例えば「学んだこと・変わったこと」で作文を書かせて振り返らせます。

### ステップ5 新たな問題の表出で「次の課題解決へ」

これだけの準備をして実施しても、振り返りでは、必ず問題点が表出します。しかし、そこがチャンスです！教師は、子どもに学級の問題を見付ける視点をもたせ、その問題点がこれからの学級の課題として捉えることができれば、そこから、次の課題解決、学級活動（1）へと進みます。

学級会にチャレンジ  
してみてください。

